

## 「Tokyo Metro ACCELERATOR 2023」を実施します！

9月11日（月）エントリー開始、2024年3月18日（月）に最終審査を実施

東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村 明義、以下「東京メトロ」）では、今年度で8回目の開催となるオープンイノベーションプログラム「Tokyo Metro ACCELERATOR 2023」を実施します。

「Tokyo Metro ACCELERATOR 2023」は「新規事業創出プログラム」と「鉄道事業課題解決プログラム」の2つのプログラムを設けており、幅広い外部連携を通じて、新たな事業領域に積極的に挑戦していきます。

「新規事業創出プログラム」は、2023年9月11日（月）から専用WEBサイト（<https://eiicon.net/about/tokyometro2023/>）でのエントリーを開始し、審査を通過した企業と事業検証等を通して事業展開を検討していきます。

また、「鉄道事業課題解決プログラム」は、応募機会及び事業共創機会の最大化を図るため、専用WEBサイト（<https://www.tokyometro.jp/corporate/business/tokyometro-accelerator/index.html>）において通年で募集し、常時検証を行っています。

東京メトロは「東京を走らせる力」というグループ理念のもと、東京に集う人々の生活や経済活動を支える存在として、鉄道事業を中心に、様々な事業に取り組んでいます。「お出かけ」の機会を創出する事業アイデアや、まだ十分に価値を活用できていない当社のアセットを活用した事業アイデアなど、既存の価値提供にとらわれず、幅広く共創できるアイデアを募集しております。

東京メトロとさらなる価値を創造し、未来の東京を共に走らせるアイデアをお待ちしております。

詳細は別紙のとおりです。



## 「Tokyo Metro ACCELERATOR 2023」詳細

## 1 概要

東京メトログループの保有する経営資源と社外のアイデア・技術を組み合わせ、共創を通じた新規事業創出や鉄道事業課題解決を目的とします。この2つのプログラムに対して、より具体性を持った6つの募集テーマを以下のとおり設定いたします。

### 【募集テーマ】

(1) 新規事業創出プログラム	① 「お出かけ」の機会を創出
	② 鉄道アセットを組み合わせた新たなビジネスを開発
	③ 環境問題や高齢化社会に関する社会課題を解決するビジネスを開発
	④ 大都市型MaaS「my! 東京 MaaS」と共創するサービスを開発
	⑤ 東京メトロの各事業（非鉄道事業を含む）との共創
(2) 鉄道事業課題解決プログラム	⑥ 鉄道施設・設備などメンテナンス業務の生産性向上

## 2 東京メトロが提供する経営資源

- ・豊富な顧客接点
- ・事業検証フィールド・データ提供
- ・首都圏でのPR機会
- ・パートナー・資金提供

## 3 スケジュール

### (1) 新規事業創出プログラム

エントリー開始	2023年9月11日(月)
応募締切	2023年10月31日(火)
一次選考(書類)	2023年11月
二次選考(面談)	2023年12月
最終審査	2024年3月18日(月)

### (2) 鉄道事業課題解決プログラム

通年募集・常時検証を行っているため、応募後のスケジュールの制約を設けておらず、関係部と案件ごとに事業検証を進めていただきます。

## 4 応募要項

- ・法人登記がなされていること。企業規模は問いません。
- ・プロダクトや技術をお持ちであること。
- ・単発的な施策ではなく、継続的に取り組んでいくテーマをお持ちであること。

## 5 エントリーサイト

(1) 新規事業創出プログラム 「Tokyo Metro ACCELERATOR 2023」専用WEBサイト  
(<https://eiicon.net/about/tokyometro2023/>)

(2) 鉄道事業課題解決プログラム 東京メトロ公式サイト  
(<https://www.tokyometro.jp/corporate/business/tokyometro-accelerator/index.html>)

## 6 最終審査通過特典

事業検証において、採択案件毎に上限500万円程度の検証費用をサポートいたします。

## これまでの「Tokyo Metro ACCELERATOR」最終審査通過企業との取り組み状況

### 1 リンクス株式会社(2016 年度採択)

「shikAI」は、駅構内の点字ブロックに表示した QR コードを「shikAI」アプリで読み取ること  
で、現在地から目的地までの正確なルートを導き出し、音声で目的地までご案内するシステムで  
す。

視覚障がい者ナビゲーションシステム「shikAI(シカイ)」の開発に際し、東京メトロ総合研修訓  
練センターや駅構内で実用化に向けた検証を重ねました。

2021 年1月にアプリを公開し、合計 10 駅で導入しています。



ご利用時のイメージ



QR コード設置イメージ

### 2 株式会社マチルダ(2021年度採択)

マチルダは、「毎日の夜ごはんがちょっと楽しみになる」家庭料理のテイクアウトサービスで、日替  
わりの家庭料理の受け渡しステーションを都内近郊に展開しています。

東京メトロ沿線でほっとする家庭料理を気軽に受け取ることができる仕組みを共創することを目  
的に、第1弾として清澄白河駅に期間限定でテイクアウトステーションを設置いたしました。今後、検  
証結果を踏まえて、東京メトロ沿線でのサービス拡大を検討していきます。



### 3 株式会社 OWLedge(アウレッジ)(2021年度採択)

アウレッジは幼児教室の運営ならびに幼児教育コンテンツの企画・開発等を行っています。

幼児期に必要な能力を楽しく育むことができる知育教材の開発・販売に関する共同事業を予定し  
ており、現在2023年度下期の発売を目指して準備を進めています。また、事業化に向けて 2023  
年 5 月に当社より出資も実施しました。